

安心生活創造事業

3原則の取り組み概要(平成21年度)



千葉県鴨川市

ゾーンの設定(江見地区)

〔鴨川市全体〕 【面積】191.30km²
【世帯数】15,336世帯 【人口】36,826人
【高齢者人口(率)】11,341人(30.8%)

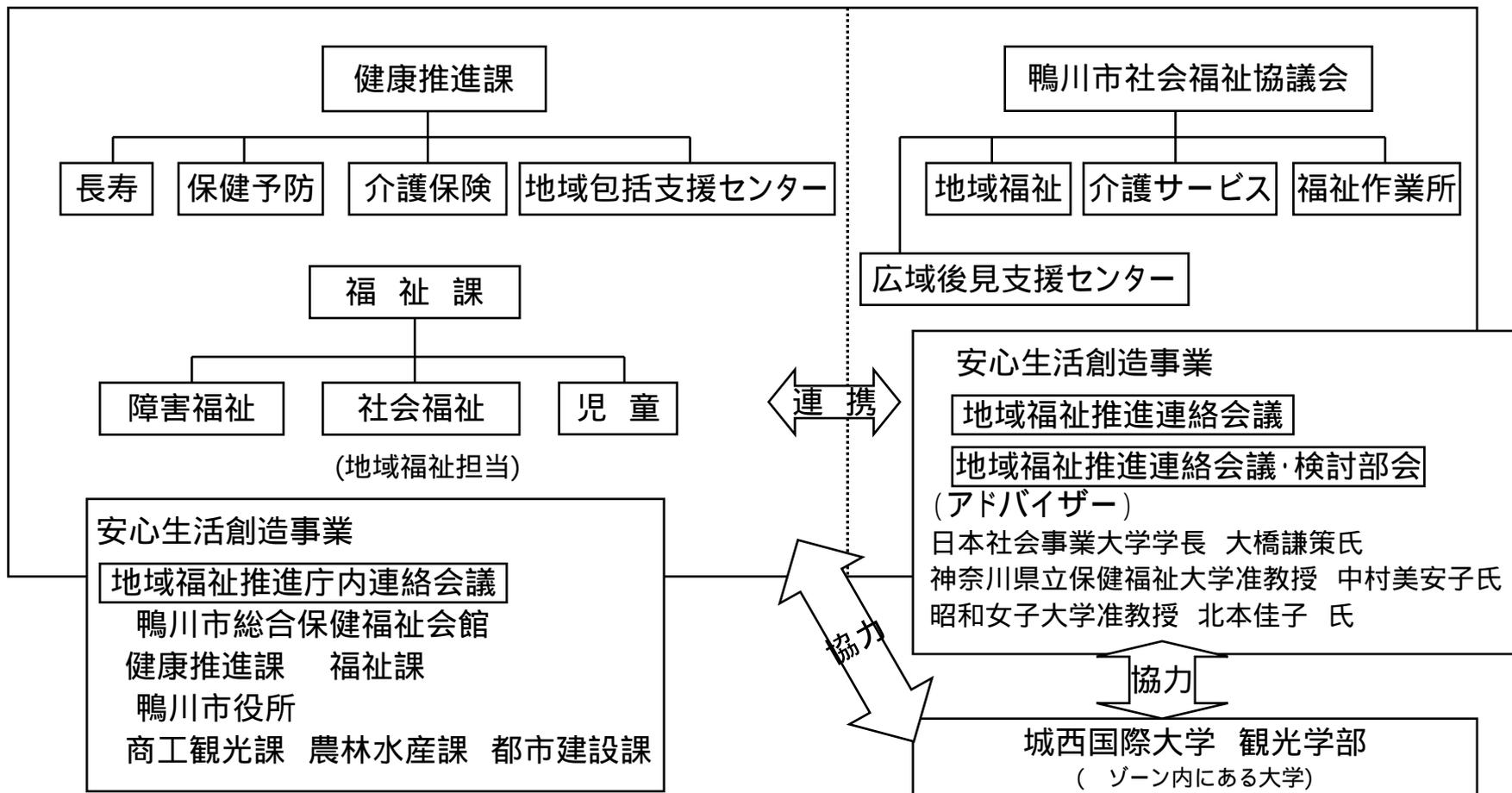


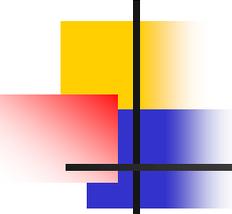
【小域圏(小学校区)】
江見、曾呂、太海
【面積】32.99km²
【世帯数】2,160世帯
【人口】5,372人
【高齢者人口(率)】
1,917人(35.7%)

* データは、平成21年4月1日現在

安心生活創造事業 推進体制

鴨川市総合保健福祉会館(鴨川市ふれあいセンター)





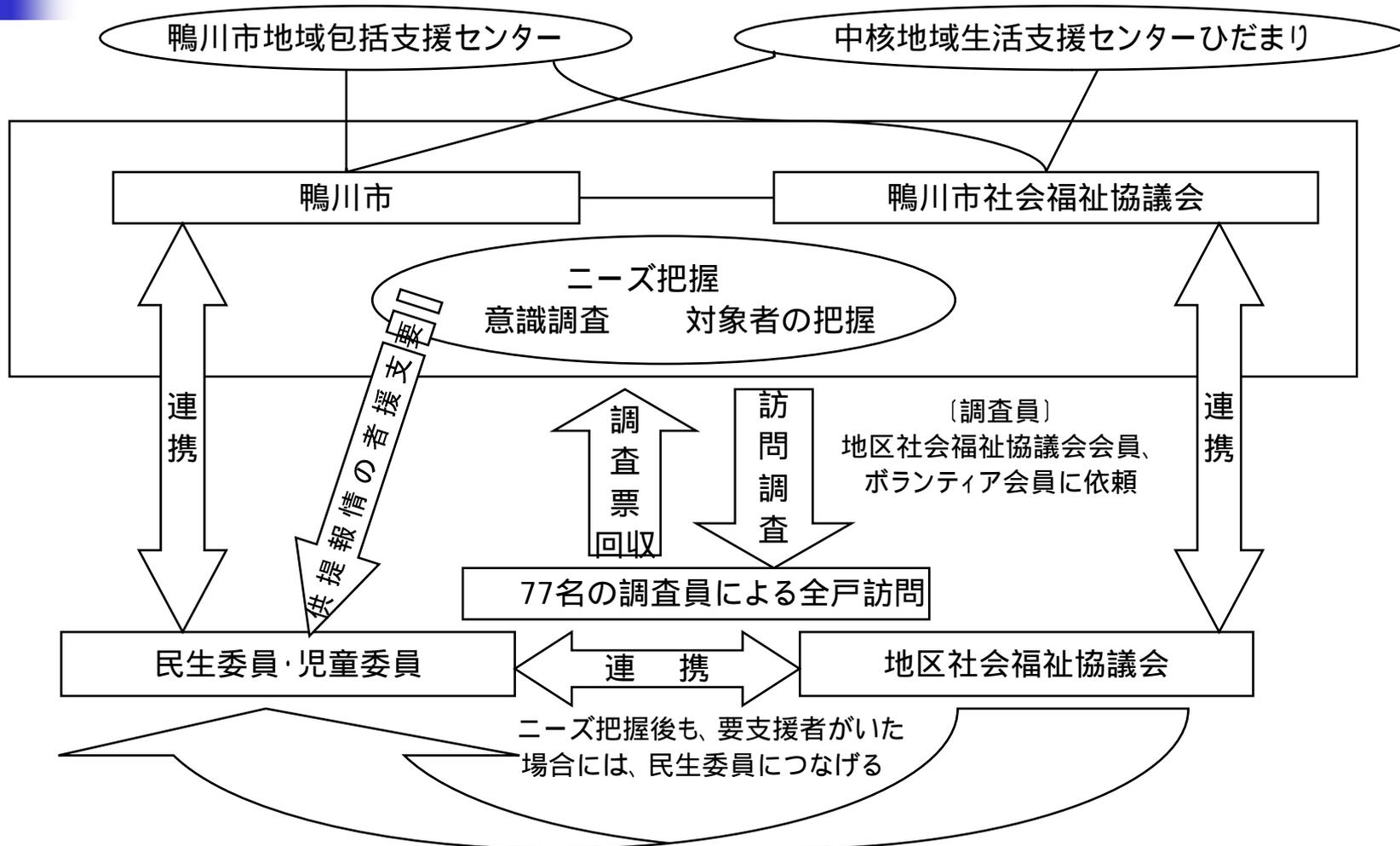
基盤支援を必要とする人々と そのニーズを把握する

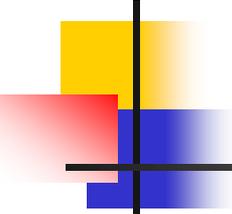
「ニーズ把握調査」

調査期間	平成21年12月1日 ~ 12月15日 15日間実施
訪問世帯数	1,861世帯(内訳:回答1,804世帯、拒否57世帯) 平成17年国勢調査時の世帯数1,869世帯とほぼ同数
調査方法	民生委員、地区社会福祉協議会会員、ボランティア等をニーズ把握調査のための調査員として市から依頼 調査員は、地区社会福祉協議会等から推薦 77名 全戸訪問(原則、聞き取り調査)
調査の種類	意識調査 地区住民の「地域福祉に関する意識調査」 対象者の把握調査 高齢者、障害者等の定期的な基盤支援が必要な者の 実態把握調査を実施 調査終了後、分析、マップ作成(作業中)

地域見守りの連携体制(イメージ)

民生委員、地区社会福祉協議会等との協働によるニーズ把握を実施。要支援者をもれなく発見





基盤支援を必要とする人がも れなくカバーされる体制をつくる

【サービス提供体制】

提供主体 社会福祉法人 鴨川市社会福祉協議会

体 制 主任(チーフ) 地域福祉活動専門員
(相談援助業務経験13年、介護支援専門員有資格者)

副主任(サブチーフ) 社会福祉士
平成22年2月雇用予定

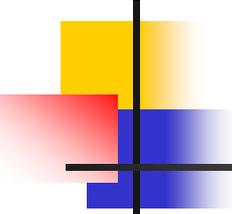
提供サービス(3月から試行)

食材お届けサービス 地元商店や生協活用(情報提供)
自主財源確保の仕組みもあわせて検討中

巡回型の安否確認 訪問員を配置

契約型の訪問支援サービス(ゴミ出し等)

新規 : なの花サービス事業 訪問員を配置



それを支える安定的な地域の 自主財源確保に取り組む (1)

【第4のポケットの取り組み経過】

- n ゾーン内にある城西国際大学観光学部に、「地域福祉応援グッズ」による財源確保の仕組みについて協力依頼。
11月から、月に1～2回検討実施。

- n 庁内各課(商工観光課、農林水産課等)を通じて、関係団体(商工会、ジャスコ、道の駅等)における可能な財源確保の取り組みについて検討。
打ち合わせ回数 10月から3回実施

- n 千葉県共同募金会に、第4のポケットの仕組みについて打診(11月20日)



それを支える安定的な地域の 自主財源確保に取り組む (2)

【取り組んでいる方策】

地元の企業、商工会(商店)、農協等に募金箱を設置
(平成22年3月に設置予定)

老人福祉施設等への自動販売機の設置

城西国際大学観光学部の協力による寄附の仕組み
(地域福祉応援グッズによる財源確保)

イオングループ(ジャスコ)の協力による寄附の仕組み
生前贈与、遺贈による寄附の仕組み

おやじおふくる元気かサービス

見守りサービスとあわせて検討中